

曾野綾子著「それぞれの山頂物語－今こそ主体性のある生き方をしたい－」講談社 2000 年を読む

－人にはそれぞれの山頂がある。自分にあった目標を自分流のやり方で実現する－

「大学も今からでも建て直しをしたらいい。授業は講義を聴く場である。聞かないなら初めから大学に行かないこと。講義に出ないことだ。教室に入って喋ったり、電話をかけたりするのはルール違反である。それなら最初から喫茶店に行き、校庭で電話を使えばいい。邪魔者を教室に置く必要もないし、単位をやることもない。自分は今何を目的にここにいるか、ということさえわからずに自分のいる場所を適切に選べないような人間に成人の責任は問えるわけではないのである。」

P.149

－ 2008年4月1日記－